

項目	説明	
試料・情報の利 用目的 及び 利用方法	研究課題名	固形腫瘍（遺伝性腫瘍を含む）を対象とした新規臨床ゲノムシーケンス検査プラットフォームの構築
	研究目的	本研究では、現在、臨床ゲノムシーケンス検査が抱えている様々な課題を克服するための新規臨床ゲノムシーケンス検査プラットフォームを構築することを目的とします。解析の一部は、東京大学医科学研究所で実施します。
	研究対象者	2010年～2025年の間に当センターを受診した若しくは受診している固形腫瘍（遺伝性腫瘍含む）で、末梢血検体あるいは生検、手術において採取された腫瘍組織の提供について文書により「子孫に受け継がれる遺伝情報の解析までを許可する包括同意」が得られた患者さん。
	研究期間	西暦 2020年 10月 19日 ～ 西暦 2025年 3月 31日
利用する試料・情報の項目 （チェック[X]が入った項目を利用します）	<input checked="" type="checkbox"/> 血液 <input checked="" type="checkbox"/> だ液 <input checked="" type="checkbox"/> 臨床検査データ <input checked="" type="checkbox"/> 病理組織 <input type="checkbox"/> 排泄物（尿・便） <input checked="" type="checkbox"/> その他（記載して下さい） <input type="checkbox"/> 毛髪 <input checked="" type="checkbox"/> 診療記録 摘出がん組織、腹水の余剰検体	
試料・情報の 管理について の責任者	当センター 研究責任者	生体試料センター・諸橋智恵
試料・ 情報を 利用す る者の 範囲	当センターでの実施診療科/部局等	臨床研究所、腫瘍内科、病理診断科、遺伝診療科
	共同研究の場合、共同研究機関および各施設での研究責任者	東京大学医科学研究所 健康医療データサイエンス分野・教授 井元清哉 臨床ゲノム腫瘍学分野・教授 教授 古川洋一